

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

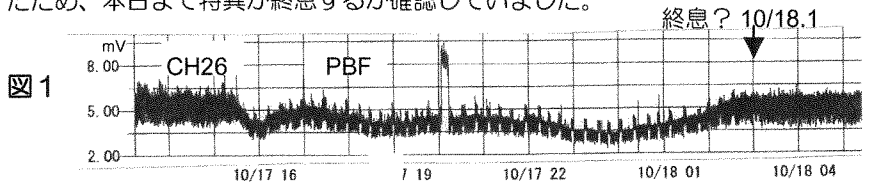
続報 No.342

2022.10/21 (金曜) 15:00 発表

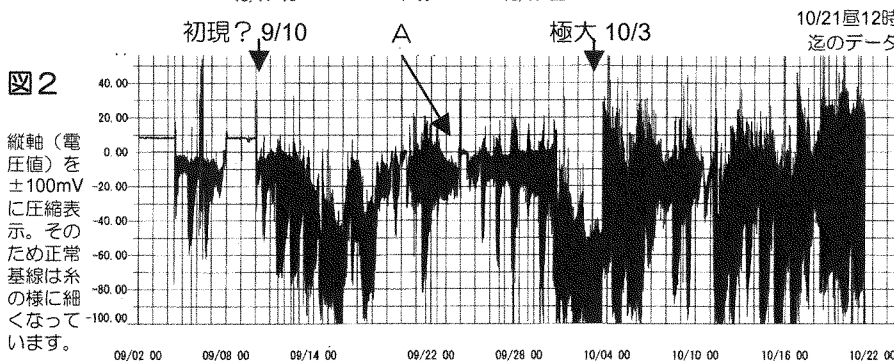
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 10/21 現在 前兆変動終息せず 継続中→10月29日±2発生の可能性否定

CH26-PBFが10/17夜に11時間、再出現しました。これを8/20のPBF極大の直前特異と考えますと、10/29±2発生の可能性を示したため、本日まで特異が終息するか確認していました。



10/17に出現したCH26-PBFが直前特異ではなく、最終前兆変動である場合は、10/18.1終息の可能性→11/15±を示す。但し、11/15±以降発生の場合は、今後まだ短時間のPBF出現がある可能性。



左図2のAを極大認識していましたが、一番特異変動が下がった10/3が極大の可能性有。CH20は9/4から特異が出現していますが、9/8、9/9は正常基線。9/10から特異継続出現。9/10を初現とした場合は11/14±3発生の可能性となります。但し、CH21特異出現開始の9/3を初現とした場合には11/27±3発生の可能性。

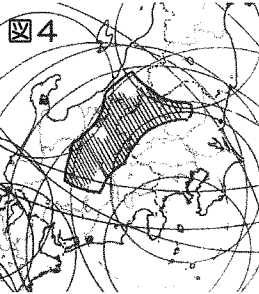
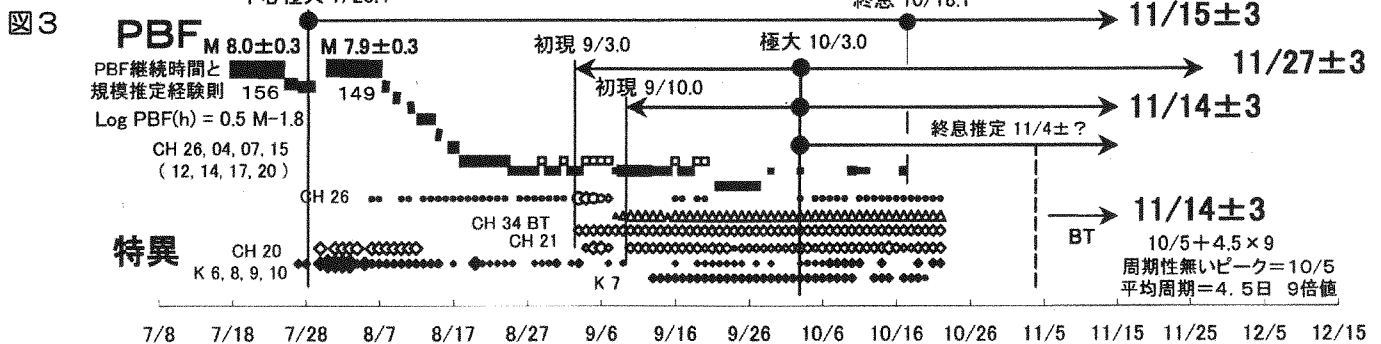
図の一部に誤りあり再掲載

Stage 25 の 14 項目の変動=7/29±3を示す

Earthquake Precursor Signal No.1778 Stage-26 2022

■ = CH 26 PBF
□ = CH 26 PBF無く他のPBF

11/4±特異終息の場合
発生推定 11/15±3
11/13±特異終息の場合
発生推定 11/27±3



変動 11/4 ±1 終息の場合 = 11/15±3 発生の可能性
変動 11/13±2 終息の場合 = 11/27±3 発生の可能性

10/17にPBFが再出現し、8/20PBF極大の直前特異だと仮定すると、偶然にも10/29±を示したため、最も早い場合を考慮して、10/29±3発生の可能性を考えました。しかし、特異変動が本日も継続中で、10/31発生も否定されたため、前回までの認識が誤りであることが明らかとなりました。申し訳ありません。図1及び図2の様な理解をした場合には11/15±3発生の可能性が示唆されますが、特異の初現認識を9/3とした場合は11/27±3発生の可能性が示唆されることとなります。図2のCH20の9/10を初現とすると、より前の特異の説明が困難なため、

- 推定領域：図4太線内領域
 - 推定規模：M8.0±0.3
 - 推定時期：11月15日±3
 - 地震種：震源浅い地殻地震
 - 推定発生時刻：午前9時±3 または 午後6時±3
- 11/27±3発生の可能性の方が若干考えやすいとは思いますが。現在継続中の特異が11/4±1に終息するか、11/13±2に終息するかで判断可能です。これより先の可能性は少々考え難いとは思いますが。実際の終息を確認して続報でご報告させていただきます。
- ※推定内容根拠はNo337を参照下さい ※図4斜線域は火山近傍参考推定域を示す